

樹 徳 中 学 校

No.132
2015.10

温故知新
10周年
新たな歴史の幕開け

平成27年度「日影祭」開催期日
10月31日(土) 11月1日(日)

生徒作品・研究発表・慈善バザー・販売実習
中学生作品コンクール・家庭・絵画・書道の部

月影杯争奪戦「中学生招待試合」
卓球・柔道 11月 3日(火) 文化の日
剣道 11月14日(土)

主催 樹徳中学校・高等学校

慈悲喜捨

神なびの みむろの山を
秋ゆけば 錦たちきる
心地こそすれ

『古今集』紀友則
神がいらつしやる三室の
山を秋の季節に通つてみる
と、(紅葉の葉が散つて体
についてくるので) 錦の布
を仕立てて着ているよう
な、そんな気持ちがあるこ
とです、という歌。

「神なびのみむろの山」とは、「神のいる神聖な山」ということであり、「たちきる」とは錦の縁語で「裁ち着る」であるという解釈が一般的で、布を裁断し、仕立てて着るの意味になります。「こそすれ」は「こそすれ」で、強調の助詞「こそ」+サ変の一語の動詞「為」の已然形。強調により、心の高揚を表しています。紅葉がそここで始まっている。野山の景色は錦の絨毯のようでもあり、身に降りかかれば、歌のように、錦をまとったような気分にもなるだろう。

神無月(陰暦十月)は、上代では「かむなづき(かむなつき)」と言ったらしい。これを「神無月」と書くのは、この月、日本中の神々が出雲大社に結集して不在となるため、一方、出雲の国では「神在月(か

みありづき)となる、という話はよく知られている。ただ、もとは「神な月」、すなわち「神の月」であろうというのが現在では有力な語源説のようである。

それはともかく、「神無月」の表記は中世以降定着し、「かみなづき」は「神が不在の月」という含意を伴わざるを得なくなつたようである。

神在月

くれやすき日の色なれば
霜の下葉に風もたまらず

『続拾遺集』藤原定家
「日の色」の「色」は色彩というより気色、様子。冬の陽射しの暮れやすいおもむきを表している。「霜の下葉」は、霜枯れの下葉。朝、草木の下葉に付いた霜が、日の短さゆえ、なかなか融けず、葉を枯らしてしまふ。「風もたまらず」とは、かなりの数が散り落ちて、下葉がもはや風を吹き留めない、ということ。

「神無月」の初句からして、神が去ってしまった後の頼りないような、虚ろのような気分が、「暮れやすき日の色」「風もたまらず」といった語句にまで染み渡っているように感じられる。晩秋から初冬にかけての、「もののあはれ」を感じずにはいられない。

教頭 尾内 正彰

明照学園理事長

野口 秀樹



山の木々も色づき始め、朝の空気がひと月前とは全く異なりました。素敵な秋の到来です。

今日は学校行事が盛りだくさんで、生徒も職員も大忙しです。まずは五日から七日まで中間試験、それが

終わりますと、女子部の恒例行事である合唱コンクールとなります。女性の戦いは何とも迫力があり、校内が歌声にあふれ、その様子はまさに音楽学校のようにです。そして三年ぶりに実施する月影祭があります（十月三十一日～十一月一日）。新校舎で迎える、百一年を臨む最大の行事、大成功に終わらせねばなりません。

さて、先月、台風十八号が残した関東・東北豪雨の災害で、近隣の茨城・栃木

に大打撃がもたらされました。本当にお気の毒です。お見舞い申しあげます。

東日本大震災では、泥かきボランティアで県内一、関東一活躍した樹徳生。この度も何かのお役に立ちたいと、行動を起こそうとする職員もおります。現在、桐生市の災害支援チーム「K-net」と現地の様子など、生徒の安全面などを確認しているところですが、高校生でも可能ならば、泥かきボランティアも取り組んでいきたいと考えています。

ボランティアの心は、そのまま仏教の教えに通じると感じます。

お釈迦様が説かれた教えをまとめたものを、「仏教教典」と言います。その数は四万八千とも言い、膨大な数であります。お寺和尚さんが唱えるあのお経も、その中の一部です。

今回は、お釈迦様が約二千五百年前に弟子達に説いた『慈経（メッター・スッタ）』というお経を紹介致します。仏教学者の中村元氏による訳です。

「究極の理想に通じた人が、静かな場所に行つてなすべきことは次の通りである。何事にもすぐれ、しっかりと、まっすぐでしなやかで、人の言葉をよく聞き、柔和で、高慢でない人になるように。

足ることを知り、手が掛からず、雑務少なく、簡素に暮らし、もろもろの感覚器官が落ち着いて、賢明で、裏表がなく、在家に執着しないように。

智慧ある識者達が批判するような、どんな小さな過ちも犯さないように。幸福で平安でありますように。生きとし生けるものが幸せでありますように。

いかなる生命であろうとも、ことごとく、動き回っているものでも、動き回らないものでも、長いものでも、大きなものでも、中くらいのものでも、短いものでも、微細なものでも、巨大なもの

でも

見たことがあるものもないものも、遠くに住むものでも、近くに住むものでも、既に生まれているものも、（卵など、これから）生まれようとしているものも、生きとし生けるものが幸せでありますように。

どんな場合でも、人をあざむいたり、軽んじたりしてはいけません。怒鳴ったり、腹を立てたり、お互いにひとの苦しみを望んではいけません。

あたかも母が、たった一人の我が子を、命がけで守るように、そのように全ての生命に対して、無量の慈しみの心を育てることです。

慈しみの心を、一切世間（すべての生命）に対して限りなく育てることです。上に、下に、周りに棲む如何なる生命に対して、も、わだかまりのない、怨みのない、敵意のない心を育てることです。

す。

立っている時も、歩いている時も、坐っている時も、あるいは横になっいても眠っていない限り、この慈悲の念をしつかり保つものである。これが梵天（崇高なもの）の生き方であると言われています。

このように実践する人は邪見を乗り越え、常に戒を保ち、正見を得て、もろもろの欲望に対する執着をなくし、もう二度と母体に宿る（輪廻を繰り返す）ことはありません。

この真理の言葉によってあなたがたは、三宝に守られますように。」
『パティパダー』二〇〇
二年四月号より）

ボランティアの心は、あらゆるものに慈しみを持つことにつながっています。生かされている者の使命として、なし得ることを考えることが大切でしょう。

感謝に満たされると

言葉も行動も美しくなる

強制するよりいい

高校二年時の国語の担当教諭は、新任の方であった。授業初日で、毎月一冊指定された本を読んで原稿用紙三枚以上の感想文を書いてくるという課題が課された。本を読むことに不慣れであった私は、とんでもない先生が担当になった、と感じた。また、読まなければならぬ本が指定されているということが私に軽い反発心を起こさせた。朝読書で読書の時間を強要されたことはあったが、読む本を強要されたことはなかった。厳しそうな先生だと感じ、あまり近づかないようにしようと思った。

はじめに指定されたのは三浦綾子の『氷点』であった。文庫本で上下巻あり、一冊になかなか厚みがある。果たして読めるのかどうかという不安はあったものの、読まねばならないものであったので、決意を固めて読み始めた。まるで昼ドラのような展開で、ドロドロとした人間関係が描かれていた。引き込まれるように時間を忘れて読んだ。厳しい先生だが面白い本を読ませてくれる。もしかしたら、もつと面白い本を読ませてくれるかもしれない。そう考えた。

この小説のテーマである「キリスト教の原罪」という概念は理解できなかったが、読み終えて感想を書き提出した。感想についてとやかく言われることもなく受け取ってもらえた。そして、私の中には達成感・充実感が残った。また、クラスの間が本を読まずにインターネット上の感想を書き写していることを知り（もちろんしつかりと読んだ人もいるはずだが）、長編を読みきった自分自身が誇らしくもあった。強制された読書であったが、幸福な時間であった。

それからも毎月一冊、指定された本を読み感想を書いた。新渡戸稲造『武士道』、白川道『天国への階段』、深沢七郎『檀山節考』などを読んだ。特に『檀山節考』は面白かった。昔話の「うばすて山」を題材とした小説であり、貧乏な村では食べ物確保のために役に立たない老人を山へ棄てに行くという話である。老人を棄てに行く者の気持ちや、棄てられると分かっている老人の気持ちなどが描かれており、もし私が老人だったならどうするだろうかと考えさせられた。

こんな面白い本を知っている先生はそうはいない。いつしか思いは尊敬に変わっていった。この先生は本を紹介し読ませてくれただけである。ただそれだけであったが、私には十分であった。先生への憧れから同じ道を歩むつもりで大学を選び、そして教員となり、縁あって本校の教員として奉職することとなった。今、私も同じ国語教員という職に就き、日々生徒と接している。生徒から教わることも多く、毎日が勉強である。

さて、私も生徒に読書の楽しみを伝えたいと思っている。そのためには読書の「強制」が必要である。



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

10月の行事予定

(1)アートスクール「編み組教室」
主催 野村ナナ子さん 7日・21日(水)

(2)七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 15日(木)

(3)販売実習(17・24日の各土曜日を予定)

①「相田みつを美術館」取扱い商品
②「星野富弘美術館」取扱い商品
③東北復興支援商品(缶詰等)

本校では、毎日十分間、朝読書の時間がある。読んでいる本は人それぞれであるが、読まれているのはライトノベルが多い。ライトノベルを否定するつもりは全くない。しかし、教育の一環としての読書だと考えれば、それだけではいけない。なぜならば、自分の好きな(興味のある)本だけを読むようになってしまいうからである。確かに、読書は恣意的なものであり、自分の興味関心から生まれる主体性を尊重するという意見もあるが、それによって興味の幅を狭める必要は全くない。むしろ、読書によって興味関心を広げることが必要である。

スポーツでもそうだが、例えば、サッカーをするにしても、自分の好きなように蹴っていいわけではなく、蹴り方やフォームの正しい型がある。正しい型を身につけるのは、強制的な反復練習である。私は、十年以上バドミントンをしていて、はじめは正しいフォームで打つための素振りやフットワークを練習した。

ある程度できるようになる、他の選手の技やフットワークを見て、自由に動けるようになった。

本校では、毎月十九日の「食育の日」で食事指導も行っている。食材、作ってくれた人へ感謝の心をもてるように指導している。なかには嫌いなものは食べない生徒もいるが、その日はたとえ嫌いなものでも食べよう指導する。

同様に、教育は強制から始まる。毎月一冊の読書感想文は、読書教育の王道であると思う。

高校時代にスポーツ・読書を通じて大切なことを教わった。次は、私が生徒に大切なことを伝え、生徒によい影響をあたえられる教員になりたい。その為にも、生徒と共に学び続けていく。(国語科 池田 陽祐)

月影祭実行委員始動

百周年記念事業としての校舎改築で三年ぶりの開催となる月影祭。今回の月影祭を盛り上げるべく、実行委員長となった生徒のあいさつです。

『月影祭

実行委員長 挨拶』

三年k組 齋藤 葵



三年ぶりに開催される本校の文化祭である「月影祭」。この月影祭は当初樹徳慈善バザーから始まりました。三十二年前より「月影祭」と名を変えて今なお続く、本校を代表する行事です。

今年本校が創立し、百一年目となります。創立百周年からさらに新たな一歩を踏み出す一年目とし、「温故知新」百一周年 新たな歴史の幕開け」をテーマとして行うことになりました。この「温故知新」は、今までの先輩たちの意思や想いを受け継ぎ、さらに新しい価値を創造していきたいという思いであり、その決意をもって、今回の月影

祭にあたります。そしてそのために「感謝する心」、「奉仕する心」、「堪え忍ぶ心」を胸に私たち生徒は一致団結して頑張っています。完成したての新しい校舎、そしてそこで学んでいる私たち生徒の学習成果にご期待下さい。

そして、今回の文化祭では創立百年という長い伝統と歴史を、私たち生徒の日々の学園生活における学習や研究の成果を発表することにより、保護者の方、地域社会の人々に本校に対するより深い理解が得られるよう、また、樹徳高校の独自の校風を感じていただけるよう行ってまいりたいと思います。

さて、今回の月影祭も地域の皆さんが楽しんでいただけるような内容が盛り沢山です。

主な内容として、まず入場門では樹徳のマスコットキャラクターであるピッパが皆さんをお迎えします。

そしてテーマ館では、前回実施された初代校長野口周善先生の足跡辿りに続き、今回は二代目校長野口健策先生の足跡を辿ります。他にも、運動部の仮装による市内パレード、勢至ホールでの聖歌隊や文芸部の演劇など、生徒によるパフォーマンス、茶道部による着物を着てのお点前や美術部・写真部等の展示が行われます。また、相撲部による「ちゃんこ鍋」の模擬店や、家庭科コースや部活動の生徒による大食堂、理科部による体験型実験、情報商業コースの生徒による販売実習も行われます。

このように様々な部活動や生徒による企画があることに加え、毎回開催されている慈善バザーや全クラスの統一企画もあり、生徒全員のそれぞれの想いが込められた月影祭となっており、今回も皆様に楽しんでいただける内容となっております。また今回、月影祭用のホームページも新設しました。当日までの校内の様子が確認できるようにになっていますので、ぜひご覧下さい。

残りあと、約一ヶ月後に迫った月影祭ですが、実行委員を始めとする生徒たち

が一丸となって準備が進められていますが、今回のテーマに添える充実した、今まで以上の月影祭が行われる予感がしています。生徒の活躍や想いを感じ、少しでも私たち樹徳生を知っていただけたらと思います。これからさらに準備を進め、このテーマを具体化

していくために実行委員がそれぞれ全力で月影祭に取り組んでいきますので多くの人にご来場いただければと思います。



中学校吹奏楽部



幼稚園



慈善バザー



パレード

前回の月影祭の様子

JUTOKU PRETEST

受験料無料

毎年3,000人を超す受験生

今の自分の実力が分かる

三者面談に役立つ

2015

A 10月
日程

10日
土日

B 10月
日程

11日
日

会場 樹徳高等学校

平成
27年度 **5教科入試体験**

実施要項

- 受験料** 無料
- 持参品** 受験票・筆記用具・昼食・上履き・下足入れ
- 発表内容** ①得点 ②平均点 ③総合順位 ④標準点
- 申込方法** 裏面の参加申込書に必要事項を記入し、担任の先生に提出してください。
- 申込期限** 9月25日(金) ※本校への申込期限
- 出題範囲** 中学3年生7月末までの学習範囲
- 試験方法・配点** マークシート方式・各教科100点満点
※面接試験はありません。
- その他** ①入試本番の雰囲気を経験できます。
②このプレテストの結果は、本校の入学試験には一切影響しません。
③結果は10月末日までに、中学校宛てに発送予定です。

時間割

8:20~8:45	(集合)
9:00~9:15	(諸注意・解答上の注意)
9:15~10:05	国語
10:25~11:15	数学
11:35~12:25	英語
12:25~13:10	(昼食)
13:10~14:00	社会
14:20~15:10	理科
15:10~15:20	(諸注意)

A日程 10月10日(土) 参加中学校の所在地区

- ・前橋市
- ・沼田市
- ・北群馬郡
- ・佐波郡
- ・日光市
- ・高崎市
- ・渋川市
- ・吾妻郡
- ・足利市
- ・その他県内外
- ・伊勢崎市
- ・安中市
- ・利根郡
- ・佐野市

B日程 10月11日(日) 参加中学校の所在地区

- ・桐生市
- ・みどり市
- ・太田市
- ・邑楽郡
- ・館林市

日程について

実施日は中学校の所在地区別になっていますが、変更も可能です。希望があれば、中学校の先生に申し出てください。

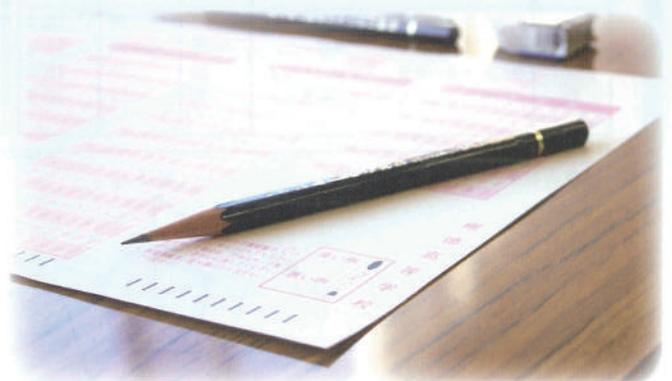


樹徳キャラクター「ビッパ」

申込み・お問い合わせ

樹徳高等学校 入学相談室

TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671
〒376-0023 桐生市錦町1丁目1番20号



学校法人 明照学園

樹徳高等学校

一貫校

中学校

だより

1・2年合同 高原学校

八月二十四日～二十六日に富士山・山中湖方面にて、一・二年合同の高原学校が実施されました。「集団行動」について更に磨きがかけられ、有意義な時間が過ごせました。生徒の感想を紹介します。



○富士山の散策では、鳴神山よりも歩きやすく楽しい登山ができました。火山が噴火した三つの所を見て、三つの穴の大きさが全てほ

ぼ同じだと聞き驚きました。貼り絵体験では、富士山のデコレーションができて楽しかったです。一年一組
長倉 里奈

○今日は、高原学校最終日でした。この三日間、様々な事を学べ、とても良い思い出になりました。「こうするといいな」と考えながら行動できたり、三役の大切さ等を学びました。今後の学校生活に活かしたいです。
一年二組 尾花 理子

○今日は、世界遺産に登録された富士山に初めて登りました。大変だったけどとても楽しかったです。パーベキューも、班のみんなとできたので、とても良い時間でした。他にもお土産など色々面白い物ができ楽しかったです。



二年一組 岡崎 愛果

○高原学校最終日。朝から大雨で忍野八海に行けなかったのが残念でした。しかし、リニア見学センターは実験等たくさんのお話を学びました。この高原学校での経験をこれからの学校生活に生かしていきたいです。
二年二組 須田 有香

刈り込みばさみは、プロの方が使っているのを見ると簡単そうに見えましたが、すごく難しかったです。また、イノシシに荒らされた所を元に戻す作業では、ただ戻すだけでなく、沢山の工夫がありました。この度の体験を通して、いつか人を笑顔にできるような人になりたいと思いました。この二日間で学んだ沢山の事を今後の生活にどんどん生かして行きたいです。
二年一組 須藤 妃南

2年 職場体験

九月三日(木)・四日(金)の二日間にわたり職場体験が実施されました。将来の自分について深く考えるきっかけにもなり、三学期の「立志式」に繋がっていきます。生徒の感想を紹介します。



平成28年度
第2回樹徳中学校模擬試験
10/10(土) 試験科目：国語・算数

第1期樹徳中学校入学試験
11/14(土)

お問い合わせ・お申し込みは、
前日までにお電話で。

Tel. 0277-45-2257

- 協力していただいた事業所をご紹介します。
- ・近江屋書店様
 - ・小倉クラッチ(株)様
 - ・おりひめ法律相談 事務所様
 - ・桐生旅行様
 - ・群馬大学理工学部様
 - ・光画社様
 - ・樹徳幼稚園様
 - ・医療法人山育会 日新病院様
 - ・タチコマ薬局様
 - ・野間スイミング 桐生校様
 - ・福田造園(株)様
 - ・ふれあい苑様
 - ・本町薬局様
 - ・ベーカリー ボンマタン様
 - ・優和クリニック様
 - ・社会福祉法人邦知会 ユートピア広沢様
 - ・広沢保育園様

幼稚園だより

運動会と

実りの秋

ハナミズキの実が赤く色づき、秋本番の十月を迎えました。園では一〇月一〇日(土)に開催される運動会を目前にし、練習に大忙しの毎日です。

運動会は屋外で力いっぱい体を使って遊ぶ動的なことが特徴の行事で、園あげでの一大イベント。



うんどうかい、がんばるぞ!

子どもたちは十月頃になると、遊びの内容が充実し、自分の思うことが表現できるようになったり、グループ活動や、複雑な遊びができるようになります。この時期に運動会の練習を通して、一層深まり大きく成長します。

このように成長してきた子どもたちが、自覚し、練習を通して自信を深め、満足感を伴って充実してくれたいとお願い、保育目標に到達できればと思っております。教職員も、子どもたちと一緒に楽しんで、ひとりの成長を確かめながら、「実りの秋」にしたいと考えております。

運動会に

向けて

子どもの意欲を引き出す環境構成も大切です。

この時期は園庭に、直線や円などの白線を引くことにしています。子どもたちが休み時間になると、一斉に園庭に飛び出し、何も言わなくても、子ども同士で進んで役割を決めて「よいドン!」と、かけっこで競ったり、わくわく感を体験するなど、自主的に練習に取り組む姿から、運動会に向けてのムードも高まります。

今年度は、はじめて地域の老人会を招待し、参観していただくことになっています。子どもたちを中心に、保護者や職員、地域の関係する方々も一緒になって、育て合うことを通して歩み続けることが、保育に携わる最前線で求められていると思うからです。運動会への招待を足がかりに、交流を發展させていきたいと考えています。

当日は園児一人ひとりが最高のパフォーマンスを繰り広げますので、保護者皆様はじめ、関係皆様の参観と応援よろしくお願いいたします。

◎主なプログラム

〈年長〉リズム遊戯「RPG」・組み立て体操・綱引き。

対抗リレー他

〈年中〉リズム遊戯「スマイル」・徒競走・おいしいものみつけたリレー他

〈年少〉リズム遊戯「僕が咲かせる花」・徒競走・笑顔がいっぱい!ビッグフ

ラググリレー」他

国際交流

九月十六日(水)に、オーストラリアから樹徳高校の交換留学生三名が、幼稚園を訪れました。マーク・ライト先生の英語の時間に一緒に勉強したり、ゲームを楽しみました。当初は緊張していた子どもたちも、すぐ



えいごのおべんきょう

に打ち解けて、いつもより元気いっぱい英単語をしっかりと発音し、高校生にほめられると、自信満々に取り組んでいました。

留学生との交流を通して、楽しい思い出と小さな国際交流ができました。国際交流が叫ばれる中、身近での交流は将来国際人として、大いに活躍が期待されます。

幼稚園長 瀬谷 茂

入園願書

受付開始

九月一日より入園願書の受付が始まりました。お早めのご提出を!

◎募集人員

・満三歳児(二歳以上) 一〇名

・年少 四〇名

・年中、年長 若干名

◎入園願書は直接ご来園下さるか、お電話にてお問い合わせ下さい。

◎いつでも見学できます。水曜日は遊び教室も開放しておりますので、ぜひお越しください。

◎お申し込み・お問い合わせは平日8時30分~18時30分に。土曜・日曜のご来園は事前にご連絡ください。

お問い合わせは

0277-53-5572

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	木	更衣 漢字練習開始	更衣 早朝自主学習(～6日) 頭髪服装指導	更衣 体育(全) 文字・数(年中)
2	金	後援会役員会②会計監査		保育料納入日
3	土	数学検定①	学校説明会②	
4	日			
5	月	中間試験(～7日) 学年主任会 授業料・第2回諸費納入日	中学校中間試験(～6日) 授業料納入日	リズム(全)
6	火		保健教育講演会	
7	水	3年生普通自動車運転免許取得教習開始 市街地清掃(通算84回)		英語(全) 文字・数(年長)
8	木	プレテスト打ち合わせ		運動会予行練習
9	金	プレテスト会場作成 大掃除	英語検定②(4・5級)一次	運動会前日準備(早帰り)
10	土	中学生入試体験プレテスト① 英語検定②一次	中学校第2回模擬試験 英語検定②(2・3級)一次	運動会
11	日	中学生入試体験プレテスト②		運動会予備日
12	月	体育の日		
13	火			運動会代休 預かり保育
14	水	マイトリー基金拠金日 中学生保護者学校見学会(～16日)	中間試験成績会議	英語(全) 文字・数(年長)
15	木		ミニマナーアップ運動	体育(全) 文字・数(年中)
16	金	後援会研修旅行(～17日)	漢字検定②	修了写真撮影
17	土		数学検定② 語学研修最終説明会	
18	日	3年河合塾全統記述模試③		
19	月	LHR 教科主任会④	挨拶運動 5分短縮授業(～22日)	リズム(全)
20	火			
21	水			お茶のお稽古④ 英語(全) 文字・数(年長)
22	木	合唱コンクール	合唱コンクール	体育(全) 文字・数(年中)
23	金			
24	土	3年河合塾全統マーク模試(～25日)		
25	日	1・2年河合塾全統模試		
26	月	朝礼	進研学力推移② 薬物乱用防止教室	リズム(全) 県幼教育課程研究協議会
27	火	漢字テスト③ 月影祭準備(～30日)	月影祭準備開始(～30日)	親子遠足(東武動物公園)
28	水	群馬県民の日		
29	木	中学生作品コンクール審査会		体育(全) 文字・数(年中)
30	金	出欠統計提出 女子制服アフターサービス		第3回入園見学会・説明会
31	土	月影祭(～11月1日) 県高校総合文化祭開会式	月影祭(～11月1日)	樹徳高校月影祭参加(～11月1日)

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく